

## 茨城労働局長がベストプラクティス企業を職場訪問 ～働き方改革に取り組むカゴメ株式会社茨城工場～

令和3年11月25日



下角労働局長(左) 森藤工場長(右)



森藤工場長(右)・菅谷生産管理部長(中)から  
のご説明



女性社員の方々との意見交換



工場視察の様子

下角圭司茨城労働局長は、「過重労働解消キャンペーン」の一環として、11月25日に、働き方改革への積極的な取組を行っているベストプラクティス企業として、トマトソース等を製造するカゴメ株式会社茨城工場（小美玉市羽鳥）を訪問しました。

同社では、長時間労働の抑制や年次有給休暇の取得促進等に積極的に取り組んでおり、従業員の働きやすさ、働きがいの向上を目指しています。

同工場では、年間総労働時間 1,850 時間以内、有給休暇取得率 90%以上を目標として設定し、これを達成しています。従業員の多能工化を推進することで、自分が休んでも代わりがいるという安心感が生まれ、取得しやすい環境が作り出されています。

また、作業の自動化や省力化により、重量物取扱作業の削減、深夜勤務の削減に取り組むほか、社内資格である「標準化実践技能士」がリーダーとなり、チーム単位で現場主導の改善活動に取り組んでいます。

さらに、「カゴメ健康七か条」を策定し、ウォーキングキャンペーンや健康セミナーの開催等を実施しています。

訪問当日は、森藤哲男工場長、菅谷直志生産管理課長から取組について説明を受けるとともに、女性社員の方々とも意見交換等を行いました。